



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 89号
2024年10月20日
編集兼発行人
瀧澤 照廣

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI

海浜公園の秋

撮影者：伊藤 泰生
撮影日：2023年10月26日
撮影場所：国営ひたち海浜公園
撮影余話：この公園には四季の風景を求めて年に数回訪れている。秋晴れのもとコキア紅葉とコスモス満開の「みはらしの丘」に登った。絶景を楽しんだ後、遠くに見える大観覧車近くのフラワーガーデンまで秋の園内を歩いた。観覧車に乗れば上空から景色を眺望できるが、高所が苦手のため地上から眺めることにした。ここもコスモスは見頃を迎えていた。園内散歩により歩数は1万を遥かに超え、心地よい疲労感と満足感で楽園をあとにした。



リレー随筆 (89)

写真を楽しむ

滝田 敦



1. カメラとの出会い 私のカメラとの付合いは、学生の時に父からお下がり一眼レフカメラを貰った時から始まりました。その頃は旅行やイベントの記録撮影がメインでした。その後一眼レフカメラにも連写機能やオートフォーカス

機能が導入される一方、低画素でしたがコンパクトデジタルカメラが出現し簡単に携帯できるようになりました。初期のデジタル一眼レフカメラは非常に高価でプロ専用でしたが、次第に手に入り易くなってきたので思い切って手元のフィルム一眼レフ機を売却して購入しました。そのデジタル一眼も最近ではミラーレスへと移行しています。

2. 作品作り 作品作りを始めたのは退職してからです。作品作りでは単に綺麗なだけでは無く何を伝えるかが重要になります。特にコンテストでは他人と異なる視点も大切になります。日頃の勉強はYouTubeやWeb講座を利用しています。オートフォーカス機能などの進化が目覚ましい最近のデジタルカメラでは簡単に綺麗な写真が撮影できるようになり、プロも油断できない状況です。私は比較的動きの少ないものを作品のメインテーマにしています。自分の意思を確実に反映するために基本的に露出・シャッタースピード・ピントはマニュアルで撮影しています。

3. 現像処理の進化 デジタル化に伴い現像、プリントも簡単になりました。子供の頃は自宅に暗室があり、狭い部屋に赤や黄色などの薄暗い電球や奇妙な形をした機器があり薬品の匂いがしていたのを記憶しています。魔女の部屋のようなでした。今では暗室(darkroom)で現像していた処理をソフト(Lightroomなど)で簡単に処理できるようになりました。

4. 活動について

現在は、二科会や茨城支部のデジカメクラブなど5つの写真グループに所属しており、公募展を含めて年に10回程度の写真展に参加しています。今年も国立新美術館で行われた二科展にも出展させていただきました。

作例として最近のコンテストでの作品を2点掲載します。「行く末」は、すりガラスを背景にして自宅のオブジェをシルエットで撮影し、神楽坂の路地で撮影した写真と合成しました。



2024年二科展
行く末(入選)



2024年二科茨城支部展 昼下がり(審査員賞)

5. 今後について カメラやスマホが進化し綺麗な写真は誰でも撮影できるようになりました。生成AIでも作品は制作できます。このような状況でも楽しみながら他人とは異なる作品作りを地道に追究していきたいと思っています。

日立歴史研究会の紹介

囲碁伝来の歴史

安田 富郎



はじめに

私は日立社友クラブ茨城支部の囲碁同好会に東曉館時代から参加し、現在大みかクラブで月二、三回打碁と昼食会を楽しんでいます。二十数年前の退職以来、太極拳、囲碁、歴史研究、同窓会活動、家庭菜園などに親しみ、余暇を過ごしてきました。支部便り85号の太極拳に続き歴史研究について紹介します。

二日立歴史研究会(日立歴研)とは

本会は、日立市油壺子交流センターを活動拠点とする、素人歴史愛好家40名弱による法人格のない同好会。勉強会で、令和4年に創立三十周年を迎えました。約半数の会員出席のもと、元茨城県立歴史館史料部長の小松徳年先生に記念講演をいただき、天地閣で式典を挙行了しました。



創立30周年記念撮影(天地閣)

史跡巡りが楽しみで、二十年前に入会、コロナ禍による中止を除き毎回参加、元気をもらっています。

③年二回会報「ひたち歴研」を発行

会員の投稿により本会の発足以来一度の中断もなく発行されており、現在第四十六号に達しています。日立市記念図書館、県立図書館、日立郷土博物館、茨城大学図書館、キリスト教大学図書館などに収納、展示、閲覧されています。会員には年二回一冊ずつ無償配布されます。編集長は私で、七年十四冊の会報を発行、現在後継者募集中です。中川真吉現会長(第二代会)は日立電線出身で、歴史を愛する会員相互間の老老介護の中、全員楽しく活動しています。



常陸太田市島町の「宝金別院」本堂の前で
日立歴研 45号表紙

なお年会費4000円の納入以外に義務はありません。活動への参加は自由です。

三中国から日本への囲碁伝播の紹介

日立歴研の活動の一端として中国からどのような経緯で「囲碁」が日本へ伝わったのかをお話して、歴史に係わることの楽しさをお伝えしたいと思います。

囲碁は日本の縄文時代後期に、中国夏王朝で考案され、遣唐使の吉備真備(きびのみきび)が中国留学の一環として囲碁を日本に持ち帰ったと伝え

られています。それは、吉備真備の囲碁を始めとする唐の大活躍が米国ボストン美術館所蔵の国宝

「吉備大臣入唐絵巻」に観るように、平安時代末期から広く知られていたことが原因でしょう。

しかし、思いもかけないところにもっと以前から日本に

囲碁が伝わっていたことが記録されているのです。それは聖徳太子と小野妹子(おののいもこ)で有名な遣隋使への答礼使として、隋から倭へ来た裴世清(はいせいせい)の倭での見聞を纏めた、隋の歴史書「隋書倭国伝」の次の一節(写真図版参照、前後一頁省略)です。

原文(漢文)

『每至正月一日必射戲飲酒 其餘節略與華同 好某博握槊樗蒲之戲 氣候温暖草木冬青 土地膏腴水多陸少 以小環挂鷓鴣項令水捕魚 日得百餘頭』
現代語訳
『正月一日に至る毎に必ず射的競技



吉備大臣入唐絵巻(部分)
唐の名人との打碁の様子



隋書倭国伝(一部)

をし、酒を飲む。その他の季節行事はほとんど中国と同じである。囲碁(碁博)、双六(握槊)、樗蒲(ちよぼ)サイコロ賭博のようなもの(の遊びを好む。気候は温暖で草木は冬も青い。土地は肥えていて水沢地が多く陸が少ない。小さな環を鵝の首筋にかけ水に入って魚を捕らせる。一日に百余匹を得る。』

吉備真備が中国に渡る百年以上前の飛鳥時代に、既に日本国内の支配層・知識層の間で盛んに碁が楽しまれていたことが分かります。古墳時代、倭の五王が大陸進出し中国と交流する中で、大王や豪族により碁が知的遊戯として初めて日本へ導入されたと推察されます。聖武帝ご愛用の螺鈿に彩られた木画紫檀の某局(碁盤)を観ると、百濟經由遙々「隋」から渡来した裴世清(はいせいせい)が当時三十四歳の飛鳥の聖徳太子に面会したこと、その時彼は太子が妹子や蘇我馬子らと鳥鷲(うろ)：カラスとサギ、黒と白を戦わせる姿を目にしたかもしれないなど、歴史のロマンを感じないではいられません。



木画紫檀の某局
(正倉院御物、伝百濟王贈)

四おわりに

歴史に興味のある方々の入会を募集しています。日立歴研へのご入会は、随時受付けておりますので、左記宛ご連絡いただければ幸いです。

安田富郎氏 連絡先

〒316-0006 日立市末広町 3-15-20
電話・ファックス: 0294-35-1181
メール: tomio@circus.ocn.ne.jp

同好会行事に参加して



「写真五七五」

河島 弘明

2016年12月例会初参加以来8年近くになります。写真五七五は、写真と俳句あるいは川柳との組合せで、3つの楽しみがあります。

その1つは、俳句を詠むプロセスで、感性を磨くことができます。私は油絵も趣味で、両者相通ずるものがあり、人生の味わいが次第に深まってきています。年2回の題詠会や年1回の吟行会では、同じものに対して自分とは異なる受け止め方があることを実感します。また、通常例会では、題材自由、日常生活の一場面への感動を句にして発表し合評する中で、人生の何に感動しているか、お互いの違いを知ることを通して、感性を広げることができます。

2つ目は、写真五七五は、写真付き日記とも言えることです。毎月の例会の積み重ねで、感性豊かな日記帳が自然にでき上がって行きます。

3つ目は、俳句の上達。しかし、柿でも実る8年となりますが、まだ実感が湧きません。今回の執筆を機に、気持ちを入れ替え取り組んで行きたいと思えます。

ところで、今や俳句は「世界の俳句」となっています。更なる夢は、国際的な場での俳句の交流です。

写真五七五 Gr の活動を長く続けて来られたのは、助言はするが批判はしないという良い雰囲気があることです。新たな多数の皆様のご参加を期待しています。



「料理教室」

三田村 幸雄

今年8月で料理教室に入会して1年8ヶ月になります。月1回の定例会ですが、先生が作成されたレシピとワイワイ、ガヤガヤと楽しく格闘しているうちに、あっという間に時間が過ぎてしまいます。私は福井県生れの農家の次男坊ですが、中学生の頃ある日、母が私達子供に風呂沸かしの他に夕ご飯を作ってくるととても嬉しいと言いました。それは肉の代わりに鯖の水煮の缶詰めを使ったカレーライスです。それでも母はとても美味しいと大変喜んでくれ、私達もとてもうれしかった記憶が強くあります。また、人に美味しい料理を作ってあげることができれば、感謝されることを知り料理に興味をもちました。

それから縁あって日立製作所に入社し、寮に入り、海外出張や駐在なども繰り返して、時には妻と一緒に諸外国を旅行し、当地の食事を食べる機会をできるだけ多く持ちました。そして60歳で定年となりギャバン社のマレーシア工場でスパイス作りをやり、その後中国大連交通大学に中国語留学し、最後はブータンで乳飲料プラント計画に1年携わり、67歳で日本に帰国しました。この間に感じたことは食が一番大事。生きることは食べることでありと実感しました。そして美味しい料理を作れることは素晴らしい能力であると。これからは老夫婦は野菜や果物を作り、家族みんなで美味しい料理を作って、家族合同の誕生パーティをやり、健康で丈夫な体を作って長く人生を楽しみたいものです。

支部からの お知らせ

日立社友クラブ理事会・茨城支部役員会報告

*第73期第4回日立社友クラブ理事会報告

- ・9月5日実施。
- ・本部会員総数は7,317名(前年比62名減)。
- ・今年度の社友クラブ総会は10月4日にホテルニューオオタニにて実施することになった。
- また、小平翁記念展の展示品が一部展示される。

*2024年9月茨城支部役員会報告

- ・9月19日(木)大みか拠点にて実施。
- ・事務局体制の一部変更等を、次の通り了承した。
総務：退任…新堀俊明(7/末)、榊井晃二(9/末)
新任…青木俊一(8/1付)
- 会計：退任…前橋建司(10/末)
新任…西野光一(11/1付)
- 支部便り・茨ネット・HP：中村浩三(変更なし)
- ・支部入会申込者 5名の入会が承認され、会員数は873名となった(前年比44名減)。
- ・茨城支部規約(案)は一部修正のうえ承認された。今後、社友クラブ本部に提出する。
- また、内規(案)は規約を踏まえたうえで、実情に即した運営内容に改正するため継続審議する。

茨城支部新入会員勧誘のお願い

会員の高齢化に伴い会員数が減少方向にあります。どうか皆様からOB会等で各同好会の活動をPRしていただき、親睦の和の拡大にご協力をお願いします。

「会員投稿」、「リレー随筆」執筆者募集

支部便りの「会員投稿」、「リレー随筆」の執筆者を募集しています。自薦、他薦は問いません。執筆者候補を中村浩三(kozo@nakamura.email.ne.jp)まで連絡をお願いします。

年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別に振込用紙を同封しますので、納入くださるようお願いいたします。

訃報 誠に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈りいたします。

小林 清峻	令和05年4月	満81歳
小沢 昇	令和06年3月13日	満87歳
鈴木 知	令和06年7月13日	満86歳
笠井 大史	令和06年7月31日	満94歳
松本 克夫	令和06年8月30日	満90歳
島崎 健次	令和06年9月06日	満86歳
松崎 四郎	令和06年9月15日	満81歳
新野 毅	令和06年9月21日	満75歳

同好会の行事ご案内（11月～1月）

1. 第91回研修会

【航空自衛隊百里基地、茨城空港、他見学】

小美玉市にあるイトウ製菓(株)の自動製造ラインを見学した後、14年ぶりに茨城空港、空港公園、航空自衛隊百里基地(広報資料館、戦闘機見学など基地内を巡回)を見学します。

- ・開催日：令和6年11月26日(火)
- ・集合：大みか駅前(東口) 8:00
日立南ドライブイン 8:15
- ・帰着：大みか駅前(東口) 16:00頃の予定
- ・会費：7,000円の予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：25名(20名以上の参加で実施)
- ・申込締切：10月27日(日)
- ・申込先：石田和夫
- ・Tel/Fax：0294-34-0209 携帯080-5087-2555
- ・E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

2. 第99回歩こう会【袋田の滝ジオパークを歩く】

袋田駅を出発して、袋田周辺の地質の成り立ちが分かる3ポイントを紅葉を眺めながら巡ります。滝本バス停からバスで袋田駅へ戻ります。

- ・開催日：11月8日(金) 雨天11月15日(金)
- ・集合：水郡線袋田駅10:40
- ・コース：袋田駅→ポイント1(レキ岩)→関鉄之介の歌碑→ポイント2(斜交層理砂岩)(昼食)→ポイント3(袋田の滝)→滝本バス停→袋田駅(距離4.2km)
- ・持参品：昼食、飲物、雨具、マスクなど
- ・申込締切：11月1日(金) ・会費：会員200円
- ・申込先：石橋康正
- ・Tel/Fax：0294-37-0439/0294-37-3725
- ・E-mail：yasumasa_ishibashi@ybb.ne.jp

第100回記念歩こう会の予告

令和7年4月4日 「水戸八景めぐり」
徳川斉昭が選定した水戸八景をバスも利用してすべて巡ります。ご期待下さい。

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	連絡先	実施予定日(曜日)			場所	時間	備考
		11月	12月	1月			
野鳥・自然観察グループ	石川 皓 0294-53-7064 aishikajp@ybb.ne.jp	18(月)			高萩市 小山ダム	9:00～ 12:00	参加費：¥300/回 原則雨天中止
			23(月)		久慈川河口	9:00～ 12:00	
				13(月)	ひたち海浜公園	9:30～ 12:00	
囲碁の会	真鳥岩男 0294-74-5285 sp8k8z59@lake.ocn.ne.jp	13(水) 22(金) 27(水)	11(水) 大会 20(金) 25(水)	8(水) 22(水) 24(金)	大みか拠点	9:30～ 16:00	参加費：¥100/回 大会：¥1000 (昼食費含む)
	七海 清 029-273-8450 fwny8718@nifty.com	21(木)	19(木)	16(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700
料理教室	並木慎一郎 029-283-1476 s-namiki@themis.ocn.ne.jp	25(月)	23(月)	27(月)	らぼーる ひたち	9:30～	参加費：¥1700/回
卓球クラブ	村上勝雄 0294-24-2430 mkattyan@net1.jway.ne.jp	6, 13 20(水)	4, 11 18(水)	8, 15 22(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ：¥4500/年
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	5(火)	10(火)	7(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食費含む
写真五七五	細江 徹 0294-42-9126 tohr92@road.ocn.ne.jp	1(金)	6(金)	10(金)	大みか拠点	9:30～ 13:00	参加費：¥300/回 昼食別途
勝田パソコン	佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	26(火)	24(火)	28(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費：¥500/回

注・旅行会(連絡先；溝口忠憲)は開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

第20回デジカメ写真展のご案内

デジカメクラブ、写真五七五グループ、野鳥・自然観察グループ合同の写真展を下記の日時、場所にて開催します。四季折々の風景や風物詩写真、一枚の写真から連想される句を添えた作品、県内外で観察される野鳥の写真など多数が展示されます。

- ・日時：12月2日(月)～12月7日(土)
9:00～17:00(最終日は13:00まで)
 - ・場所：多賀市民プラザ 1階ギャラリー
- メンバー一同、多数の皆さまのご来場をお待ちしています。

編集後記 退職後も複数のグループ活動に参加・活躍されている滝田さん、安田さんから投稿いただきました。滝田さんは独創的写真を追求して写真展に挑まれる姿勢を、安田さんからは20数年以上継続活動されている日立歴史研究会の状況と中国から日本への囲碁伝播の歴史に関する紹介をいただいています。深みを求めることをロマンと捉える姿勢には感銘を受けます。

瀧澤 照廣